

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成28年4月20日
タイトル	21世紀土地改良区創造運動部門賞を受賞しました！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成28年3月25日、全国土地改良事業団体連合会において全国水土里ネット表彰式が行われ、農林水産大臣表彰、農村振興局長表彰、全国水土里ネット会長表彰とあり、全国土地改良区功労者表彰や農業農村整備優良地区コンクール、金章など優れた活躍をされた方々が表彰されました。水土里ネット福山は「21世紀土地改良区創造運動表彰の地域農業部門賞」を受賞しました。

水土里ネット福山では平成25年度より21世紀土地改良区創造運動に取り組んでおり、平成25年度は「さなえ賞」を受賞しました。更に活動内容を広げて取り組んでいたところ、今回「地域農業部門賞」を受賞することとなりました。



全国から約500名が集まって開催されました



全国水土里ネット 二階俊博会長より挨拶



広島県から参加した受賞者です



賞状とトロフィーをいただきました

水土里ネット福山は、昭和49年、平成15年に合併し、組合員12,000人を超える全国的にも有数の規模を誇る土地改良区となりました。福山市域の中央部を流れる一級河川の芦田川から取水する地域や周辺部のため池を水源とする地域があり、土地改良施設の整備や維持管理を主な事業としており、合併前の土地改良区を地域それぞれの特性に合った土地改良施設の維持管理を行う任意団体の「工区」として位置づけているのが特徴です。

21創造運動に取り組むにあたり、全体から対象地域を選び、役員・総代・職員が一丸となって取り組むことを目標といたしました。任意団体の「工区」を活かし、工区のリーダーでもある役員・総代、組合員が積極的に農業体験や出前授業に参加しています。その様子を「水土里レポート」を通して全国に発信しております。

昨年11月6日には、21世紀土地改良区創造運動中央選考委員会が開催され、今回、大賞を受賞された北海道の水土里ネット富良野並びに岩手県の水土里ネット鹿妻、そして部門賞を受賞された兵庫県の水土里ネット天満大池と一緒に水土里ネット福山も21創造運動の概要説明をしました。

概要説明では、事前に提出している調書をもとに5分間の口頭説明の後、5分間の質疑応答をするものでした。5分間で説明するため事前に何回も練習し、ほとんど暗記していましたが、実際には緊張して原稿を読むだけになってしまいました。今までも出前授業や転落防止の呼掛けなどで緊張しうまく説明できないことがあり、この緊張を克服することが今後の課題だと思いました。

質疑応答では、審査委員から「アイデアが豊富で風通しのよい組織だ。」と褒めていただきました。農業体験や出前授業をするなかで、地域の方や組合員、学校、農協や福山市の関係課の皆さまの意見をお聞きし、予算をかけずに身の丈に合った活動をするため様々なことに挑戦したことが認めただけだと思いました。また、全国地方新聞社連合会の荒木英幸副会長から「21創造運動のような活動は新聞を使って発信してもらいたいので、新聞社にどんどん声をかけて。」と言われ、新聞社を通じて発信していくことの重要性も考え、農業体験等の取材先で積極的に取材記者の方に声をかけるようになりました。

また、それぞれの水土里ネットの概要説明をお聞きし、様々な活動をしておられることを知り、大変勉強になりました。これからの活動の参考にさせていただこうと思いました。



中央選考委員会の様子



緊張しながら説明しました

今回の部門賞の受賞により、あらためてご協力いただいた関係機関の皆様、そして農業体験で素晴らしい笑顔を見せてくれた子ども達に感謝いたします。

これからも水土里ネット福山が持つ魅力を発信していくなかで、水の大切さ、土とのふれあい、そしてふる里を誇りに思い大切に守りたいと再確認できるような取り組みをしていきたいと思えます。

21世紀土地改良区創造運動を通じて、いろんな方と交流することが増え、新たな発見や気づきがありました。この経験を土地改良区の業務全体の活性化にも繋げていきたいと思えます。